

ふれあいトーク記録書（要約）（議会サポーター意見交換会）

開催日時： 令和 7 年 7 月 2 日（水） 午後 7 時 00 分 ～ 午後 8 時 30 分

場 所： 岩倉市役所 第 2 ・ 第 3 委員会室

参加人数： 5 人（サポーター） 8 人（市議会議員：須藤智子、谷平敬子、梅村 均、鬼頭博和、堀江珠恵、大野慎治、塚崎海緒、木村冬樹） 計 13 人

次 第： 1. 開会挨拶 議長 須藤智子
2. 意見交換会
3. 閉会挨拶 副議長 谷平敬子

記 録： 鬼頭博和

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
1. 6 月定例会について	・ 閉会中の活動について、議会として視察に行かれたのか。 ・ 去年は体調等が悪く一年間を通して議会の傍聴ができなかった。一般質問についてはいろいろな提案をされるが、確認の意味でもう一度同じ内容の質問をしてはどうか。 ・ 一般質問において、議員が要望していることに対して、市の答えが、「検討が必要と考える」や「研究していく」などの答えが多いが今後どのようにしていくのか。具体的な取り組みについて詰めてもらいたい。	・ 5 月に新しい議会人事が決まったので、これから視察に行く予定。今は準備段階である。 ・ 一般質問に対しての答えは、市としても明確な答えがしにくい面もあるので、質問後もどのような形になるのか話し合っている。また、同様の質問を繰り返して行うこともある。 ・ 答えが良くなくても、次年度に予算化されることもある。市もそれなりに議員の質問に対しては真

	• 今年の桜まつりでは、昨年にと比べてとても多くの人々に来ていただけてうれしく思っている。石仏方面も多くの方が訪れた。今後の発展に期待している。 • 岩倉駅からお祭り広場までの空き地がそのままになっているので、今後賑やかになるといい。 • P F A S の問題について、岩倉団地の数値が県水を導入したが下がっていない。今後の取組はどのようなか。 • 尾張一宮パーキングエリアのスマートインター設置についてどのような状況なのか。P R も必要ではないか。 • 過去にもこのような質問があったなど、同様の質問が何度か行われていることがよくわかった。質問の仕方がレベルアップしたように感じる。 • ライブ配信で見ると部長の答弁がよく聞き取れた。高齢者や耳の不自由な方たちのために、本会	摯に取り組んでいると思う。 • 6月議会で難聴高齢者に対する補聴器の補助が決まったが、これまでも多くの議員が一般質問で取上げたり、市民からも請願が出されたりしていた。市もしっかりと受け止め考えていると思う。 • 桜の咲く時期が遅かったが、最後の土日はとても多くの方が訪れた。 • 市として県水を導入したり、検査の回数を増やしたりするなど努力している。国や県が汚染源の特定や、健康被害とP F A S の血中濃度の関係を早く示す必要がある。 • 一宮市が、パーキングエリア周辺の区画整理を行うことになっているが、多くの地権者がおり、いつまでにできるのか決まっていない。また国の採択は受けたが、スマートインターチェンジ設置について今後の予定は、はっきり決まっていない。 • 議会広報委員会で検討している。
--	---	---

	議場に字幕モニターを設置してはどうか。 ・字幕が正確でなくても、ある程度分ければメリットになると考える。 ・耳が不自由なので、9月議会から導入されるタブレットを使って、字幕が出るような仕組みができるといい。会議のやり取りを聞き取れるヒヤリンググループという便利な装置がある。高価な物ではあるが導入できるといい。	・A I による字幕モニターは正確ではないが、それでも許容範囲になるのか。 ・ヒアリンググループについては議会でも研究していきたい。どんな方でも情報が取りやすい環境を整えていくべきである。
2.一年間を振り返っての感想	・3月議会の一般質問で取り上げられた授乳室について、他市を調べたが近隣の江南市、小牧市、一宮市は「赤ちゃんの駅」という形で授乳室がある。岩倉市にも設置されるべきだ。 ・サポーターになった時に市政についての要望も発言してよいといわれた。議会運営だけでは、なかなか意見が出ないのではないか。 ・岩倉市のサポーター制度はとても良い制度であると思う。他の市町ではこのような制度がないと感じる。 ・以前議会だよりの編集で縦書き、横書きどちらがいいのかといったテーマがあった。議論のテーマとして具体的なものが挙げられていると話しやすい。個人の要望についても、発言することで議	・岩倉市は、空いている部屋を使って授乳室として対応している状況である。授乳室があれば、気軽に利用できると考える。 ・基本は議会運営についての発言が中心である。市政についていろいろな意見をもらうことについてはサポーターの役割を変えなければならない。 ・議員の中でもサポーター制度については温度差がある。どのような形で進めていくのか議会の中で議論していきたい。

	会が取上げ市政に反映されていくので、続けていくことは大事である。 ・市議会サポーターの名簿があるといい。お互いの名前ぐらいは知りたい。 ・議会だよりは、現在6段になっているが、4段にできないのか。	・苗字のみで検討したい。 ・議会広報クリニックで、6段が見やすいと講師から指摘されたので変更した。
3.フリートーク	・議会の課題をサポーターの皆さんにお示しして、文書で提出する方法もいいのではないか。じっくり考えることができる。 ・今年の桜まつりでは、堤防の草が伸びている所があった。しっかり草を刈ってほしかった。 ・以前、タウンミーティングのような行政区との意見交換会を行っていた。また、復活して行ってはどうか。テーマごとの意見交換会も行っていたきたい。 ・ユーチューブで議会を視聴している。質問事項を考えて、意見交換会に参加しているがうまく言えないことがある。議員の皆さんが「いわくらしやすい」に向けて動いていることを身近に感じるこ	・議会で桜まつりについて質問すると、桜まつり実行委員会で協議するという回答になる。議員は実行委員会に入っていないが、商工会との意見交換で要望を伝えている。 ・過去に、議員が選出されていない行政区での意見交換会を行ったことがある。また行えるよう検討していきたい。

	とができている。ユーチューブも以前に比べ見やすくなっている。 ・2班に分かれて意見交換会を行っているので、もう一つの班でどのような意見が出たのか知りたい。また、前回行われた内容について次の意見交換会で、見せていただきたい。	
4. その他	・議会だよりに掲載しているQRコードはスマホで見ているとリンク先に飛べないので、長押しすると飛べるようにしてほしい。 ・名簿の開示について個人情報に該当するのか調べてほしい。 ・現在は対面、又はオンラインでの意見交換となっているが、ハイブリット形式での意見交換会について検討してほしい。 ・高校に出向いて議会を説明するなど、若者に向けた政治参加に取り組んでほしい。 ・市議会サポーターを知らない方が多いのでSNS等で発信してはどうか。広報委員会で検討してほしい。	・調査しておく。 ・ハイブリット形式はマンパワーが必要。今の事務局の体制では難しいのではないか。 ・若者に向けた取組については、今年度チームを立ち上げたのでしっかり取組んでいきたい。 ・議会ですっかり取組みたい。